

V 宮崎県特別支援教育研究連合 各エリア部会

宮崎・東諸県エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 主な研究・活動の内容

年間活動報告

期 日	事業名	活動の内容	会 場
6月 下旬	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第1回役員会 (書面で確認)	・令和5年度の活動報告 ・令和6年度の計画・予算確認	
10月 31日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第1回研修会	・授業参観 ・学校概要説明 ・講演会（松田昭憲氏）	みなみのかぜ 支援学校
12月 13日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第2回役員会	・年間反省、事業・会計報告 作成確認 ・次年度役員・役割分担等確認、 事業計画案作成	憶地区交流セ ンター

3 主な研究成果

本年度は、第1回の役員会が書面で確認となった他は、予定通り活動することができた。宮崎・東諸県エリア部会は、小中学校主催と特別支援学校主催を隔年で実施する形をとっており、本年度は特別支援学校主催で研修会を実施した。研修会は、みなみのかぜ支援学校で行った。午前中は、授業参観や学校概要の説明があり、午後からは、宮崎学園短期大学教授の松田昭憲氏の講演会を行った。特別支援学校の仕組みや進路等について詳しく知ることができる良い機会となった。今後、児童生徒や保護者から進路相談があった時などに活用していきたい。また、講演会では、教師が児童・生徒にとって本当に必要な支援をするためには、児童・生徒を日々観察し、寄り添い、理解していく姿勢が大切だと感じた。

来年度の研修会は、東諸県の学校が担当である。

日南・串間エリア部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するための専門的指導力の向上と小・中学校等における特別支援教育の充実

2 活動内容

期 日	活 動 内 容	場 所
6月4日	○ 第1回日南・串間エリア部会役員会 ・ 総会、研修会について ・ 昨年度事業報告 ・ 今年度事業計画及び予算案について	南郷 小学校
8月中	○ 令和6年度日南・串間エリア部会総会（紙面決議）	紙面上
8月6日	○ 令和6年度日南・串間エリア部会研修会 ・ 研修会（講演会）※ 会場及びZOOMによる研修 演題 「知的障がいのある子どもの「よさ」を生かした自立活動の在り方」 講師 岡山県立岡山南支援学校 主幹教諭 徳田朋子	日南くろ しお支援 学校及び 各学校
2月予定	○ 第2回日南・串間エリア部会役員会 ・ 活動内容、会誌、会計報告 ・ 令和7年度日南・串間エリア部会の活動について	南郷 小学校

3 主な研究成果

本年度の総会は紙面決議とした。研修会は第13回宮崎県特別支援教育研究連合 知的障がい教育研究部会研究大会への参加とした。日南くろしお支援学校を会場とし、支援学校の会員は会場で、日南市と串間市の会員はそれぞれの学校でのZOOM配信で行った。（参加できない場合は、宮崎県教育研修センター「インターネットでe-研修」での後日配信を視聴するよう推奨した。）

研修会では、岡山県立岡山南支援学校 主幹教諭 徳田朋子先生に「知的障がいのある子どもの「よさ」を生かした自立活動の在り方」と題して講演していただいた。自立活動について、実践例や自立活動の具体的な内容を交えて講義もしていただいた。教材や単元の見方・考え方及び児童生徒のアセスメントの方法を知り、小・中学校においてもあらゆる場面で、自立活動の指導が大切であることがわかった。

今後は、研修会で学んだことを各学校で実践するだけでなく、今年度作成予定の教材活用集を参考に支援の充実を図っていききたい。

課題については以下の通りである。

- 小・中学校においては、教育課程の編成等に課題があり、自立活動や生活単元学習などの時間が十分に確保されていない。このような研修を管理職も含めた全ての教職員に向けて実施する必要がある。

- 8月に実施した研修会は、日南・串間エリア部会としての開催であったが当日参加者数が少なかった。（e-研修視聴が多かったのかもしれない）

そこで、次年度以降は分科会を設定するなどして会員相互のつながり、エリア部会の一層の研修の充実を図っていききたい。

また、トライアングルプロジェクトについての充実を図る必要があるとの声もあがっている。エリア部会としても福祉との連携を充実させていくための実践、研修を行っていく必要がある。

西都・児湯エリア部会

1 研究主題

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

2 主な研究・活動の内容

(1) 年間活動報告

①第1回役員会

ア 6月3日(月)

(ア) 事業計画(決裁)

(イ) 収支予算案(決裁)

(ウ) 研究大会計画検討

②令和6年度西都・児湯エリア部会研究大会

ア 8月2日(金) 13:00～16:00

(ア) 開会行事

(イ) 研究・実践発表

a 内容 『すべての子供が「わかる」「わくわくできる」授業づくり：日常生活の指導』

発表者 県立児湯るびなす支援学校 高橋 美百 指導教諭

b 内容 ～西都市特別支援教育部会Cグループの自閉症・情緒障がい特別支援
学級における実践報告～

発表者 西都市立三納小学校 白坂 郁昌 教諭

(ウ) 講演

a 演題 「個々の児童生徒への適切な支援を目指して

～必要と思われるところのはたらきを想定した取組の一例～」

講師 都城市立沖水小学校 石本 隆士 指導教諭

(エ) 閉会行事

③第2回役員会(予定)

ア 2月3日(月)

(ア) 令和6年度事業報告及び収支決算報告の審議

(イ) 令和7年度事業計画案及び収支予算案の審議

(ウ) 令和7年度役員の確認と西都・児湯エリア部会研究大会について(案)

3 主な研究成果

本年度は、昨年度台風接近のため中止になった研究内容を実施した。児湯るびなす支援学校の高橋美百指導教諭の発表では、支援学校での具体的な取組が動画を交えてとても詳しい説明で分かりやすく、今後の実践に大変役立つ内容であった。また、三納小学校の白坂郁昌教諭の発表では、Cグループの各学校の具体的な実践内容を分かりやすく説明していただき大変参考となった。講演会後の参加者のアンケートでは、「事例とともに具体的な対応策や、何を意識して児童・生徒に向き合わなければならないのかを、分かりやすく解説していただき大変参考になりました」などの感想があり、講演会が好評だったことがうかがえる。話の内容がわかりやすくとても参考になる内容であった。

都城・北諸県エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「児童生徒の実態に応じた交流教育はどうあればよいか」

2 活動報告

(1) 年間活動報告

月	日	会の内容	場所
4		○ 支援学級の調査（事務局）	都城市立山田小学校
5	8（水） 31（金）	○ 役員選出 ○ 事務局・役員会 ① 令和5年度総会資料について ② 各地区役員引き継ぎ ③ 事業計画	沖水地区公民館 都城市立沖水中学校
6	21（金）	○ 理事長・事務局打ち合わせ	三股町立三股中学校
7	2（火）	○ 令和6年度第1回総会	早水体育文化センター
8		○ 県の研究大会参加、協力 ○ 特別支援学級関係の負担金集金	三股町立三股中学校
9	26（木）	○ 合同作品展に向けての役員会 ・事前打ち合わせ	都城市立沖水中学校
10	17（木）	○ 研修会及び各部会 ・実践報告、授業研究会打ち合わせ、補助金の分配 ○ クラスルームの開設	三股町立三股中学校
12	6（金）	○ 授業研究会及び研修会	五十市地区公民館
1	16（木） 17（金） ～20（月）	○ 合同作品展前日準備 ○ 合同作品展 ○ 合同作品展・作品撤去	ウェルネス交流プラザ
2		○ 第2回理事会・事務局会 ・年間活動の反省及び次年度に向けての協議 ○ 第2回総会 ・本年度のまとめ、課題の共有	都城市立沖水中学校

3 主な研究成果と課題

(1) 成果

- 総会で組織の説明や支援学校の実践例の紹介があり、議事だけでなく、情報交換をする機会をもつことができた。
- クラスルームを作ることができ、実践例の共有がよりスムーズになった。
- 授業研究会では、UDハンドブックを活用した研究推進の例や、目の前の児童生徒への対応例を具体的に紹介していただき、反響が大きかった。

(2) 課題

- より有効な補助金の使途について考えていく必要がある。
- スムーズで使いやすいデジタル活用について推進していく必要がある。

小林・西諸県エリア部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 主な研究・活動の内容

期日（曜日）	事業内容	場 所	参加者
4月30日（火）	○ 第1回研修会（総会） ・ 事業計画案及び予算案審議	小林中央公民館	小中会員全員
6月24日（月）	○ 西諸県地区特別支援教育研究会と小林こすもす支援学校との第1回代表者協議 ・ 合同研修会の計画	東方小学校	会長・理事長・支援学校担当者
7月1日（月）	○ 第1回役員会 ・ 年間事業計画確認 ・ 合同研修会の計画、役割分担、準備	東方小学校	小中役員・支援学校担当者
7月30日（火）	○ 合同研修会 ・ 教育講演会 ・ 分科会（各テーマで協議・情報交換）	東方小学校と小林こすもす支援学校（小学部）	エリア部会会員全員
9月5日（木）	○ 第2回役員会 ・ 第1回研修会の計画、準備 ・ R7九特連大会実践発表の準備	東方小学校	小中役員
11月19日（火）	○ 第3回役員会 ・ 第1回研修会の準備 ・ R7九特連大会実践発表の準備	東方小学校	小中役員
12月10日（火）	○ 第1回研修会 ・ 教育講演会 ・ パネルディスカッション	小林市民会館 小ホール	小中会員全員
2月10日（月）	○ 第4回役員会 ・ 九特連発表準備	東方小学校	小中役員
3月4日（火）	○ 第5回役員会 ・ 本年度反省並びに次年度計画案検討 ・ R7九特連大会実践発表の準備	東方小学校	小中役員

3 主な研究成果

(1) 成果

夏休みに合同研修会を行い、教育講演会と、テーマごとに分かれて協議と情報交換を行った。西諸県地区の福祉サービスと就労や、児童・生徒の実態に即した指導（行動面、学習面、生活面、進路指導）について専門性を高めることができた。また、小林こすもす支援学校の夏期研修に、小・中学校特別支援教育担当者（希望者）がオンラインで参加し、インクルーシブ教育システムの背景や意義、また交流及び共同学習について学ぶことができた。

(2) 課題

研究を進めるにあたり組織体制や準備等に課題があった。来年度は、エリア部会の組織や活動計画を見直し、会員のニーズに合わせた研修を計画的に行いたい。

日向・東臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「個に応じた教育的ニーズに応える特別支援教育の充実」

2 主な研究・活動の内容

(1) 組織

日向・東臼杵地区（日向、門川、入郷）の小・中学校の学校長、及び特別支援学級・通級指導教担当職員の会員、日向ひまわり支援学校長、及び職員

(2) 年間活動報告

期日	事業名	主な内容	場所
7月9日（火）	日向・東臼杵エリア部会 総会・役員会	令和5年度事業報告 令和5年度決算報告・監査報告 令和6年度事業計画 令和6年度予算案 県特県連組織、エリア部会規約 他	大王谷学園 初等部
8月6日（火）	エリア部会研修	第25回宮崎県特別支援教育研究連 合研究大会参加	オンライン
11月20日（水）～ 12月13日（金）	次年度研修会内容について （アンケート）	小・中学校職員へアンケート実施	
令和7年 2月14日（金）～ 2月21日（金）	なかよしアート展	各学校の児童生徒の作品紹介 学校紹介パネル展示	日向市中央 公民館
2月28日（金）	日向・東臼杵エリア部会 役員会	令和6年度事業報告 令和6年度決算報告・監査報告 令和7年度事業計画案 令和7年度予算案 他	大王谷学園 初等部

3 本エリア部会の成果と課題

(1) 成果

- 本年度のエリア部会研修会は、県特別支援教育連合研究大会への参加とした。午前中は、演題「次世代のユニバーサルデザイン「Next UD」の観点からテクノロジー活用を考える」（小川修史氏）をオンラインで受講し、Next UDの考え方について学ぶことができた。また、午後は、希望する部会に参加することで、それぞれの障がい種に関する研修を深めることができた。
- 来年度の研修会の内容を定めるために、小・中学校職員へ「これから研修会で学びたい内容についてのアンケート」を実施し、次年度研修内容の方向性を定めることができた。

(2) 課題

- 本年度から、事務局が支援学校から小・中学校へ変わったこと、役員決定に時間がかかったこと等の理由から、新年度をスムーズに開始することができなかった。本年度中に、新役員を決めておいたり、活動計画を建てておいたりする必要がある。
- 事務局の引継ぎや連絡についても、確実にするためにはどのようにすればよいのかを、小・中学校と支援学校とで確認をし、次年度に引き継ぐ必要がある。

延岡・西臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「児童生徒の生きる力を育む指導の在り方」

～教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について～

2 主な研究・活動の内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組んだ。

期 日	事 業 名	主な内容
6月20日（木）	第1回事務局会	・令和5年度の事業報告、決算報告 ・令和6年度活動方針・事業計画、予算案について ・総会、県特研連研究大会について
8月6日（火）	宮崎県特別支援教育 研究連合研究大会 (大会併催)	*エリア部会総会については、総会議案を各学校に配付し、FAX返信による書面議決とした。 (8月30日締め切り)
10月7日（月）	合同作品展 運営委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・役割分担の確認等
11月21日（木）	合同作品展 第1回実行委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担・係の内容の確認など
1月25日（土） ～27日（月）	合同作品展	・各学校の幼児児童生徒の作品展
1月27日（月）	合同作品展 第2回実行委員会	・係からの反省 ・次年度に向けて
2月下旬～3月下旬	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継ぎ事項の確認

3 主な研究成果

本年度の総会は、上記「活動内容」にある通り、部会所属校に総会議案を事前配付し、書面議決をとる形で成立させることとなった。夏季研修会については、第25回宮崎県特別支援教育研究連合研究大会の講演会をエリア部会の研修として併催させていただいた。当日は、しろやま支援学校以外の職員は、オンラインでの研修となったが、部会所属の小中学校からも、多くの参加者があった。

合同作品展は、例年延岡市内の会場において実施されており、500名を超える来場者がある地域に根ざした取組である。今年度も、カルチャープラザのべおかを会場とし、部会所属校に在籍する幼児児童生徒が製作した作品を3日間に渡って展示する予定である。来場者からは、称賛や励ましの感想を多くいただいております、特別支援教育の理解・啓発に大きく役立っている。

エリア部会としては、その企画・運営において、小中学校と特別支援学校の担当者が綿密な打ち合わせを重ねながら行っており、双方の交流を深める機会となっている。今後も夏季研修会や合同作品展等の実施内容及び実施方法について、延岡・西臼杵エリアの特別支援教育の推進に寄与できるよう努めていきたい。